

平成 22 年度 事 業 実 績

I 概 要

「高岡市総合計画」基本構想に掲げる「心にうるおいをもたらす地域文化の振興」を踏まえ、地域に根ざした芸術・文化活動の育成に向けて取り組んだ。

また、指定管理者制度に適切かつ柔軟に対応できる運営体制を目指すとともに、効率的な経営に努めた。

○ 文化施設等の適正な管理と利用の促進

利用者に安全・快適に施設を利用していただけるよう、施設管理に万全を期するとともに、利用者のニーズに沿った良質なサービスを提供するため、人材育成のための研修や各種検討委員会を設け、課題ごとに検討を重ねてきた。

○ 文化振興事業の展開

市の文化振興施策の方向を踏まえ、質の高い舞台芸術の創造事業、市民の芸術文化への関心を高める事業、市民ニーズに応える事業などを展開した。

特に今年度は、市民会館において3か年計画で実施する「ー未来創造プロジェクトー進化する森」がスタートした。また、万葉歴史館開館20周年記念のシンポジウムや第40回記念高岡市芸術祭など、節目となる記念事業等にも積極的に取り組んだ。

II 各施設の事業内容

1 文化振興事業（事務局）

事務局は、各施設における特色ある事業の調整役を担っている。

「第40回記念高岡市芸術祭」は、芸術祭第40回の節目の記念事業として開催し、邦楽、洋楽、華道、茶道、美術の各部門が会場内の賑わいと魅力ある合同空間の創出に努めるとともに、先人達から受け継がれてきた芸術に寄せる心意気と質の高い高岡の芸術文化を次の代に伝えるべく取り組んだ。来場者数は合計で6,060人となった。（前年度：6,727人）

2 万葉歴史館事業

企画展は、前年に引き続き「越中国と万葉集」を実施した。春の特別企画展では、山岳写真家宮澤正樹氏の万葉植物の世界を写した作品を展示し、秋には越中万葉研究の歩みから、今に残る越中万葉の歌枕をわかりやすく紹介した。

また、万葉歴史館開館20周年記念としてシンポジウム「越中万葉の魅力」を開催し、越中万葉について熱心なディスカッションが交された。

富山大学では、平成20年度から、大学と高岡市との連携事業として、館長や研究員が大学において万葉に関する講義を実施している。

出版事業では、「高岡市万葉歴史館紀要」（開館20周年記念号 第21号）、同叢書「大伴家持研究の最前線」、同論集「風土の万葉集」を出版し、研究成果を紹介した。

“万葉を愛する会”では、「平城京万葉フォーラム参加と万葉故地めぐりバスツアー」や「児童対象万葉故地めぐりバスツアー」を開催し、好評を博した。

来館者に対しては、わかりやすく万葉の世界を伝え、館内を案内するために「和草」と称するボランティア説明員が活躍している。

3 美術館事業

6月から7月には、国内外の異郷の地で制作活動を展開した高岡にゆかりのある作家たちに焦点をあてた「旅人たちの挑戦」展を開催した。(入場者数 773 人)

また、夏には「20世紀イタリア美術展」を、9月から10月には「安土桃山・江戸の美」展を開催した。

「20世紀イタリア美術展」では、日本でも有数のイタリア美術コレクションをもつことで知られる、「ふくやま美術館」(広島県)の収蔵品から油彩画・版画・彫刻作品など約100点を展示し、イタリア20世紀美術の多様な全貌を紹介した。(入場者数 4,065 人)

「安土桃山・江戸の美」展では、華麗な蒔絵類を中心とした工芸作品、歴史的・史料価値も高い屏風絵など、これまで展示される機会の少なかった東山庵グループの近世美術コレクションを展示した。(入場者数 2,252 人)

平成23年1月から2月には「ものづくりでつなぐ高岡」を開催した。市内小中学校39校の児童生徒が「ものづくり・デザイン科」の学習で制作した作品とともに、高校生・大学生の作品や「金属工芸工房かんか」と美術館収蔵の工芸作品、さらにはクラフトコンペ入賞作品や制作工程パネルを借用し展示した。ワークショップ・アートイベントも開催して地域との連携を推進した。

教育普及事業では、様々な年代と多くの市民等に展覧会や常設展を鑑賞してもらうため、ギャラリートーク等、美術の啓蒙に努めた。

4 博物館事業

常設展については、平成19年7月にリニューアルして以来、子供たちや観光客にわかりやすい展示を心がけており、高岡の通史と、伝統産業・民俗(祭礼)を紹介している。また適宜展示替えをしたり、毎月2回の常設展の解説を行った。

館蔵品展では、日頃の資料収集・調査研究の成果を公開した。

教育普及事業では、特別講演会や展示説明会(35回)のほか、郷土学習講座(4回)、切り紙ワークショップ、呈茶の会等を実施した。また市の歴史等に関する講師として派遣依頼に応じた。(17件)

資料収集・保存活動では、地域における歴史・民俗等にかかる資料の収集・保存を行った。調査研究活動では、新たに収集した資料をはじめ、多くの収蔵資料及び未調査資料の調査・整理作業を行った。

また、10月から「デジタルアーカイブ推進事業」を開始した。当館全収蔵資料の台帳をデジタル化することで、電子情報をインターネットに公開し、市民をはじめ博物館利用者の当館資料情報の幅広い利活用を推進するものである。

5 市民会館事業

5月に開催した「オーケストラ・アンサンブル金沢 with 山下洋輔」は、オーケストラとジャズピアニスト山下洋輔とのジョイントコンサートで、ジャズとクラシックの両方を楽しめるプログラムにより、ホールの観衆を魅了した。(入場者数 848 人)

6月には、市内小学校4年生約1,600名を対象に、子供たちが本格的なクラシックの演奏に触れ、コンサートでのマナーを身に付けることを目的としている「10才のファーストコンサート」を開催した。

芸術文化活動を通じて地域づくりを支援している(財)地域創造の助成を受けて、「ピアノコレクション」と「進化する森」の各事業を開催した。

11月に開催した「ピアノコレクション」では、全国的にも著名なピアニスト3名と県内で活躍する若手ピアニスト3名によって、スタインウェイ、ベーゼンドルファー、ヤマハの3台のピアノの音色を聴き比べることができるユニークなコンサートを実施し、入場者から

好評を博した。

「―未来創造プロジェクト―進化する森」は、古城の「森」から高岡の新しい文化を創造し、全国に発信することを目的として、平成22年度から3か年計画で実施するものである。初年度は、事業の推進組織となる「進化する森クルー」を立ち上げ、公募による市民の参加を得て平成23年1月には、ダンスや舞台アートなどの芸術活動の融合による舞台公演を行った。

「ホール活性化事業」では、市民会館ホールサポーターの会「パープル」が主体となり、年間11回のサロンコンサートとミニギャラリーを開催した。サロンコンサートは通算130回を超え、市民が気軽に音楽を楽しむ場として定着している。

6 青年の家事業

若者たちの生涯学習の一環として、また心身ともに健全な青年の育成を図るために各種事業を実施した。

「青年文化教室」は、従来から行っている華道、茶道、着付けの各教室のほか、新たに能楽体験、ヨガ、3B体操、パッチワーク、ピラティス、おりんでセラピーなどの教室を加えて実施した。(年間各10回)また、文芸・華道・茶道・着付けなど和の文化に親しむ講座として「現代教養講座」(年間15回)を開設した。

そのほか、ゴルフやボウリング教室等(年間各8回)のスポーツ・レクリエーションを通して「若者交流支援事業」を行った。

7 ミュゼふくおかカメラ館事業

4月に増築収蔵庫が完成し、寄贈品収蔵の対応及び展示・収蔵スペースの充実を図った。増築収蔵庫完成記念事業として、カメラ常設展と春の企画織作峰子写真展を開催し、クラシックカメラの魅力を伝えるとともに、女性写真家ならではの視点による爽やかな作品を展示した。6月1日の「写真の日」には、全館無料開放し、新収蔵庫を一般公開した。

カメラ常設展では秋に展示内容を入れ替え、「二眼レフの存在感と実力」と題し、二眼レフカメラの魅力を紹介した。

企画展では春・夏・秋の季節に合わせて第一線で活躍する写真家3氏の写真展を開催した。夏は若手動物写真家前川貴行氏の大型作品を中心とした迫力ある作品を紹介し、特に夏休み期間中は若年層に好評を博した。秋の石川賢治写真展では、月をテーマにした幻想的な作品の魅力を広く紹介し、開期中の満月の日には夜間延長したほか弦楽コンサートをを行い、来館者を魅了した。

また、地域の写真文化の啓蒙を図る教育普及事業として、「第57回ニッコールフォトコンテスト写真展」、公募展「第10回ジュニアフォトコンテスト写真展」を行ったほか、企画写真展に併せたギャラリートークの開催、館長による写真教室や地域の団体等への講師・審査員派遣等に協力した。

8 動物園事業

動物の飼育展示のほか、「ふれあい広場」、動物園まつり、特別展、動物園だよりの発刊等の事業を実施した。

「ふれあい広場」は、ウサギやテンジクネズミ等の小動物に直接触れることができるもので、来園者から好評を得ている。

レクリエーション施設としての機能はもちろんのこと、情操教育の場として動物愛護の啓発や情報発信、種の保存に努めた。

Ⅲ 理事会に関する事項

1 審議内容

- | | | | | |
|-----|-------------|--|--|----|
| (1) | 第72回理事会 | 平成22年4月1日 | | |
| | 議案第1号 | 財団法人高岡市民文化振興事業団の副理事長及び専務理事の選任について同意を求める件 | | 可決 |
| | 議案第2号 | 財団法人高岡市民文化振興事業団寄附行為第16条第4項に規定する副理事長の選任について | | 可決 |
| (2) | 第73回理事会(書面) | 平成22年4月20日 | | |
| | 議案第1号 | 財団法人高岡市民文化振興事業団評議員の選出について | | 可決 |
| (3) | 第74回理事会(書面) | 平成22年5月27日 | | |
| | 議案第1号 | 平成21年度財団法人高岡市民文化振興事業団決算について | | 可決 |
| (4) | 第75回理事会(書面) | 平成22年9月28日 | | |
| | 議案第1号 | 平成22年度財団法人高岡市民文化振興事業団補正予算(第1号)について | | 可決 |
| (5) | 第76回理事会(書面) | 平成22年12月20日 | | |
| | 議案第1号 | 平成22年度財団法人高岡市民文化振興事業団補正予算(第2号)について | | 可決 |
| (6) | 第77回理事会 | 平成23年3月24日 | | |
| | 報告第1号 | 平成22年度財団法人高岡市民文化振興事業団事業実績について | | 可決 |
| | 議案第1号 | 平成23年度財団法人高岡市民文化振興事業団事業計画について | | 可決 |
| | 議案第2号 | 平成23年度財団法人高岡市民文化振興事業団予算について | | 可決 |
| | 議案第3号 | 公益財団法人の最初の評議員の選任方法について | | 可決 |
| | 議案第4号 | 公益財団法人の定款について | | 可決 |

2 理事及び監事の異動状況

(1) 平成22年4月1日	理事	岩坪 正人	就任
	理事	遠藤 幸一	就任
	理事	小野 寛	就任
	理事	小山 豊	就任
	理事	高橋 正樹	就任
	理事	高柳 卓三	就任
	理事	田中 祥子	就任
	理事	辻 やす子	就任
	理事	西田 修	就任
	理事	秦 正徳	就任
	理事	氷見 哲正	就任
	理事	開 章夫	就任
	理事	細呂木 六良	就任
	監事	廣嶋 律子	就任
	監事	室谷 泰弘	就任
(2) 平成22年9月26日	理事	西田 修	辞任
(3) 平成22年9月27日	理事	廣田 義保	就任
(4) 平成23年3月31日	理事	岩坪 正人	辞任
	理事	小野 寛	辞任
	理事	高柳 卓三	辞任
	理事	開 章夫	辞任

IV 評議員会に関する事項

1 審議内容

- (1) 第15回評議員会 (書面) 平成22年5月27日
議案第1号 財団法人高岡市民文化振興事業団決算
について 可決
- (2) 第16回評議員会 (書面) 平成22年9月27日
議案第1号 平成22年度財団法人高岡市民文化振興事業団
補正予算(第1号)について 可決
議案第2号 平成22年度財団法人高岡市民文化振興事業団
理事の選任について 可決
- (3) 第17回評議員会 (書面) 平成22年12月20日
議案第1号 平成22年度財団法人高岡市民文化振興事業団
補正予算(第2号)について 可決

- (4) 第18回評議員会（書面） 平成23年3月17日
- | | | |
|-------|-----------------------------------|----|
| 報告第1号 | 平成22年度財団法人高岡市民文化振興事業団
事業実績について | 可決 |
| 議案第1号 | 平成23年度財団法人高岡市民文化振興事業団
事業計画について | 可決 |
| 議案第2号 | 平成23年度財団法人高岡市民文化振興事業団
予算について | 可決 |
| 議案第3号 | 財団法人高岡市民文化振興事業団理事の選任
について | 可決 |
| 議案第4号 | 公益財団法人の最初の評議員の選任方法について | 可決 |
| 議案第5号 | 公益財団法人の定款について | 可決 |

2 評議員の異動状況

- | | | | | |
|-----|------------|-----|------|----|
| (1) | 平成22年4月20日 | 評議員 | 橘 博文 | 就任 |
| (2) | 平成23年3月31日 | 評議員 | 橘 博文 | 辞任 |

V 業 務 内 容

1 文化振興事業（事務局事業）

(1) 第40回記念高岡市芸術祭

① 舞台公演

- ・日 時 平成22年11月7日(日) 午後1時開演
- ・会 場 富山県高岡文化ホール
- ・内 容 全体テーマ「未来へ・・・」
- ・出 演 高岡市芸術文化団体協議会邦楽・洋楽部会会員ほか（出演者324人）
- ・入場者数 774人

○ 第一章「祝」邦楽ステージ

* 箏曲 * 詩吟・剣詩舞 * 小唄 * 能楽 * 日舞 * 尺八 * 民謡・民舞

○ 第二章「愛」洋楽ステージ

* ヴァイオリン * ピアノ * 合唱 * 洋楽合同

○ 第三章「絆」邦楽・洋楽合同ステージ

テーマ「五節句」

※賑わい創出（富山県高岡文化ホール大ホールロビー）

- ・ミニステージ 平成22年11月6日(土) ①午前11時～②午後1時30分～
出 演 : 邦楽・洋楽部会会員
入場者数 : 378人
- ・呈茶席 平成22年11月6日(土) 午前10時～午後3時
席 主 : 古儀茶道藪内流竹風会高岡支部
入場者数 : 201人

② 茶 会

- ・日 時 平成22年11月3日(水・祝)
裏千家 : 午前8時～午後3時
藪内流 : 午前9時～午後3時
清風の会 : 午前9時～午後3時
- ・会 場 富山県高岡文化ホール : 茶道裏千家淡交会高岡支部
繁久寺 : 古儀茶道藪内流竹風会高岡支部
高岡市土蔵造りのまち資料館 : 茶道「清風の会」
- ・入場者数 裏千家700人 藪内流310人 清風の会308人

③ 高岡市美術作家連盟展

- ・日 時 平成22年11月6日(土)～14日(日) 午前9時30分～午後5時
- ・会 場 高岡市美術館
- ・出 品 高岡市美術作家連盟会員6部門160人
- ・入場者数 1,319人

※ミニコンサートの開催：テープカット及び作品解説時

(洋楽部会会員によるウェルカム演奏)

④ 第23回「華道展」

- ・日 時 平成22年11月6日(土) 午前10時30分～午後6時
7日(日) 午前10時～午後5時
- ・会 場 富山県高岡文化ホール
- ・出 品 華道部会役員 大作2席
華道部会会員12流派 183人 173席

- ・入場者数 2,070人
- ※高岡市美術作家連盟協力出品：10人

2 万葉歴史館事業

(1) 展示事業

- ① 常設展示 「ふるさとの万葉」の公開継続
- ② 企画展示 第6回企画展「越中国と万葉集」の公開継続
- ③ 春の特別企画展
 - ・テーマ 「うたを撮る 一家持に捧ぐ 宮澤正樹の世界」
 - ・会期 平成22年4月21日(水)～5月10日(月)
 - ・会場 万葉歴史館 回廊
 - ・入館者数 1,960人
- ④ 新「高岡市」誕生5周年記念 秋の特別企画展（開館20周年記念）
 - ・テーマ 「越中万葉の歌枕 越中万葉研究の歩み II」
 - ・会期 平成22年9月22日(水)～11月1日(月)
 - ・会場 万葉歴史館 回廊
 - ・入館者数 5,041人
- ⑤ 回廊展示及び正月特別展示
 - ・春季回廊展示 平成22年5月12日(水)～7月19日(月・祝)
 - ・夏季回廊展示 平成22年7月21日(水)～9月20日(月・祝)
 - ・秋季回廊展示 平成22年11月3日(水・祝)～12月13日(月)
 - ・正月特別展示 平成22年12月15日(水)～平成23年1月31日(月)
 - ・冬季回廊展示 平成23年2月2日(水)～4月11日(月)

(2) 2010高岡万葉セミナー開催事業（開館20周年記念）

- ① 新「高岡市」誕生5周年記念 夏季高岡万葉セミナー（5講座）
 - ・テーマ 「大伴家持研究の最前線 I」
 - ・期日 平成22年8月21日(土)～22日(日)
 - ・会場 万葉歴史館 講義室
 - ・講師 木本 好信（甲子園短期大学学長）
 - *演題 「大伴家持と藤原種継の暗殺事件—五百枝王の伊予配流と家持—」
 - 内田 賢徳（京都大学大学院教授）
 - *演題 「大伴家持の発想と方法—中国文学の摂取をめぐって—」
 - 山崎 健司（熊本県立大学教授）
 - *演題 「歌群から歌巻へ—大伴家持の編纂手法—」
 - 鉄野 昌弘（東京女子大学教授）
 - *演題 「歌人家持と官人家持」
 - 神野志 隆光（明治大学大学院特任教授）
 - *演題 「『万葉集』のなかに編集された家持」
- ・受講者数 165人

② 新「高岡市」誕生5周年記念 秋季高岡万葉セミナー（2講座）

- ・テーマ 「大伴家持研究の最前線 II」
- ・期 日 平成22年11月21日（日）
- ・会 場 万葉歴史館 講義室
- ・講 師 廣川 晶輝（甲南大学教授）
*演題「家持作品の時間と空間」
大濱 眞幸（関西大学教授）
*演題「「三年春正月一日」の賀歌から「萬葉」の賀歌へ」
- ・受講者数 54人

(3) 学習講座事業

① 「万葉集をよむ」（年11回）

- ・期 日 毎月第1土曜日（5・6・7・1月は第2土曜日、10月は休み）
- ・会 場 万葉歴史館 講義室（以下同じ）
- ・講 師 西澤 一光（新潟経営大学准教授）、万葉歴史館館長及び研究員
- ・受講者数（登録）83人

② 「大伴家持とともに」（年10回）

- ・期 日 毎月第3金曜日（8・10月は休み）
- ・講 師 小野 寛（万葉歴史館館長）
- ・受講者数（登録）102人

③ 「古代を学ぶ」（年3回）

- ・期 日 平成22年5月30日、平成22年11月28日
平成23年3月20日（いずれも日曜日）
- ・講 師 川崎 晃（慶應義塾大学非常勤講師・前万葉歴史館学芸課長）
- ・受講者数（登録）60人

④ 「小野寛の越中万葉教室」

- 第1回 ・期 日 平成22年9月16日（木）
・会 場 氷見市立西部中学校
・参加者数 1年生 32人
- 第2回 ・期 日 平成22年11月12日（金）
・会 場 伏木小学校
・参加者数 5・6年生 83人
- 第3回 ・期 日 平成22年11月17日（水）
・会 場 横田小学校
・参加者数 6年生 56人
- 第4回 ・期 日 平成22年11月18日（木）
・会 場 野村小学校
・参加者数 6年生 126人
- 第5回 ・期 日 平成22年11月26日（金）
・会 場 野村小学校

・参加者数 4年生 137人

第6回 ・期 日 平成22年12月10日(金)
・会 場 能町小学校
・参加者数 5年生 110人

第7回 ・期 日 平成22年12月15日(水)
・会 場 博労小学校
・参加者数 4・5年生 118人

第8回 ・期 日 平成22年12月16日(木)
・会 場 東五位小学校
・参加者数 5・6年生 93人

⑤ 第11回越中万葉故地めぐり

・期 日 平成22年6月20日(日)
・場 所 氷見方面
・講 師 万葉歴史館研究員
・参加者数 54人

⑥ 出前講座「高岡と万葉」：一般対象

新たな万葉ファンの掘り起こしをめざし、高岡市広報統計課等と提携して出前講座を34回実施した。

⑦ 博物館実習生等の受入

・6年次教職員研修「社会体験研修」
・期 間 平成22年8月18日(金)～21日(土)
・教諭3名受入
・富山大学芸術文化学部「博物館学Ⅱ」集中講義
・期 日 平成23年2月17日(木)
・担 当 高野副館長

(4) 出版刊行事業

① 「高岡市万葉歴史館紀要」第21号

② 「高岡市萬葉歴史館叢書」23 「大伴家持研究の最前線」
2010夏季・秋季高岡万葉セミナーの講演録を収載

③ 「高岡市万葉歴史館論集」14 「風土の万葉集」

(5) 万葉に関連する文献資料等の収集事業

① 万葉関連図書資料収集事業 図書 377冊(平成22年度末累計16,140冊)

② 万葉関連論文複写製本(デジタル画像保存)事業
論文 629件(平成22年度末累計52,700件)

③ 収蔵品

	平成22年度新収蔵品	収蔵品・合計
書・拓本等	24点(うち寄贈 23点)	285点
絵画・写真等	0点(うち寄贈 0点)	303点
遺物・彫刻等	3点(うち寄贈 0点)	109点
合計	27点(うち寄贈 23点)	697点

(6) 図書論文目録作成事業

所蔵論文目録及び一般図書のインターネットによる検索サービスの継続

(7) 万葉関連共催事業

① 新「高岡市」誕生5周年記念 開館20周年記念シンポジウム「越中万葉の魅力」

- ・期 日 平成22年10月2日(土)
- ・会 場 万葉歴史館 講義室
- ・出演者 コーディネータ 小野 寛 (万葉歴史館館長)
パネラー 稲岡 耕二 (東京大学名誉教授)
坂本 信幸 (奈良女子大学名誉教授)
針原 孝之 (二松学舎大学大学院教授)
山口 博 (聖徳大学教授)

・参加者数 155人

② 萬葉学会第63回全国大会の開催

- ・期 日 平成22年10月23日(土)～26日(火)
- ・会 場 高岡市生涯学習センター ホール、万葉歴史館 講義室 ほか

③ 第30回全国万葉短歌大会(表彰式・記念講演)

- ・期 日 平成22年10月1日(金)
- ・会 場 万葉歴史館 講義室
- ・選 者 辺見 じゅん、佐佐木 幸綱
- ・応募者 1,812人《一般608人、ジュニア(高校生以下)1,204人》

○ 記念講演

- ・演 題 「竹山広の歌」
- ・講 師 佐佐木 幸綱

(8) 富山大学の教養・人文学部における講義

- ・前 期 教養「日本文学(万葉集)」 15回
- ・後 期 人文学部「日本文学特殊講義」 15回

(9) ボランティア説明員「和草」の活動

- ・活動日 土・日・休日及び要請のあった日
- ・活動員 12人
- ・活動時間 1回3時間(午前9時～正午、午後1時～午後4時)
- ・活動実績

活動日数	件 数	案内人数
117日	579件	2,724人

(10) 高岡市万葉歴史館“万葉を愛する会”事業

- ① 目 的 万葉歴史館の活動を支援し、全国の万葉愛好団体等との交流を図り、歴史館の充実・発展に資すること。
- ② 設 立 平成2年10月19日
- ③ 会員数 487人(一般477人：特別10社)
- ④ 事業内容
 - 会員募集及び「万葉の花ごよみ」の配布
 - 「万葉を愛する会だより」の発行(58～60号)
 - 平城京万葉フォーラム参加と万葉故地めぐりバスツアー
 - ・ 期 日 平成22年5月22日(土)～5月23日(日)
 - ・ 内 容 1300年の古都平城京を訪ねる
 - ・ 講 師 小野 寛(万葉歴史館館長)、高野昭憲(万葉歴史館副館長)
 - ・ 参加者 27人
 - ミニコンサート“合唱と講談の夕べ”
 - ・ 期 日 平成22年8月8日(日)
 - ・ 場 所 万葉歴史館 ラウンジ
 - ・ 参加者 151人
 - 児童対象万葉故地めぐりバスツアー
 - ・ 期 日 平成22年8月29日(日)
 - ・ 場 所 氷見方面
 - ・ 参加者 69人

3 美術館事業

(1) 企画展示事業

① 第16回 高岡市民美術展

- ・ 内 容 高岡市で美術制作を行う人たちから広く作品を公募し、審査による入選・入賞作品及び招待作品を展示した。生涯学習の発表の場として広く親しまれ、本市の美術文化の振興に資している。今回より会場を高岡市美術館のみとし、作品企画を改めて広範な市民参加を目指した。
部門一絵画Ⅰ(日本画)、絵画Ⅱ(洋画)、彫刻、工芸、書、写真の6部門。
- ・ 会 期 平成22年4月17日(土)～5月4日(火・祝)(16日間)
- ・ 主 催 第16回高岡市民美術展実行委員会
- ・ 会 場 高岡市美術館
- ・ 入館者数 6,378人

② 第49回 日本伝統工芸富山展

- ・ 内 容 日本工芸会富山支部会員と公募による金工、漆芸、その他の工芸など7部門の工芸作品及び重要無形文化財保持者を含む日本工芸会会員の賛助出品を展示した。
- ・ 会 期 平成22年5月14日(金)～30日(日)(15日間)
- ・ 主 催 高岡市美術館、北日本新聞社、(社)日本工芸会、日本工芸会富山支部
- ・ 入館者数 5,157人

- ③ 旅人たちの挑戦—収蔵品セレクション展—
- ・内 容 高岡に縁があり、国内外の異郷の地で制作活動を展開した作家たちに焦点をあて、棟方志功や尼野和三、南桂子などの版画や油彩画56点を展示した。
 - ・会 期 平成22年6月18日(金)～7月19日(月・祝)(28日間)
 - ・主 催 高岡市美術館
 - ・入館者数 773人
- ④ ふくやま美術館コレクションによる20世紀イタリア美術展
—未来派、デ・キリコからトランスアヴァンギャルディアまで—
- ・内 容 日本でも有数のイタリア美術コレクションをもつことで知られる、ふくやま美術館の収蔵品から油彩画・版画・彫刻作品100点を展示し、イタリア20世紀美術の多様な全貌を紹介した。会期中は親子割引券を販売し、夏休み期間の鑑賞に便宜を図った。
 - ・会 期 平成22年7月30日(金)～9月5日(日)(33日間)
 - ・主 催 高岡市美術館
 - ・入館者数 4,065人
- ⑤ 東山庵グループコレクション
安土桃山・江戸の美～知られざる日本美術の名品～
- ・内 容 東山庵グループによる華麗な蒔絵類を中心とした工芸作品、歴史的・史料価値も高い屏風絵など、北陸の地に伝わりながら、これまで展示される機会の少なかった近世美術のコレクションを紹介した。
 - ・会 期 平成22年9月23日(金)～10月24日(日)(28日間)
 - ・主 催 高岡市美術館
 - ・入館者数 2,252人
- ⑥ 第40回記念高岡市芸術祭(同時開催 高岡市美術作家連盟展)
- ・内 容 高岡市を中心に活動する美術作家の団体展。日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門にわたり、会員の作品(新作または近作)を展示。
 - ・会 期 平成22年11月6日(土)～14日(日)(8日間)
 - ・主 催 高岡市芸術文化団体協議会、高岡市美術作家連盟、(財)高岡市民文化振興事業団
 - ・入館者数 1,319人
- ⑦ リニューアル ジュニア☆アート☆ワールド 2010-2011
- ・内 容 高岡市内の小・中学生の作品を展示するとともに、子ども向けの収蔵作品鑑賞コーナーやワークショップを開催した。
 - ・会 期 平成22年12月4日(土)～平成23年1月10日(月・祝)(27日間)
 - ・主 催 高岡市美術館
 - ・後 援 高岡市教育委員会
 - ・協 力 高岡市小学校長会、高岡市中学校長会、高岡市美術館友の会
 - ・入館者数 5,794人
- ⑧ ものづくりでつなぐ高岡
第5回「ものづくり・デザイン科」作品展・ワークショップ・アートイベント
- ・内 容 市内39校の児童生徒が「ものづくり・デザイン科」の学習で制作した作品を展示するとともに、高校生・大学生の作品や金属工芸工房かんかと美術館収蔵の工芸作品、デザイン・工芸センターからはクラフトコンペ入賞

作品や制作工程パネルを借用した。会期中にはワークショップ・アートイベントを開催して地域連携を推進した。

- ・会 期 平成23年1月22日(土)～2月20日(日) (32日間)
- ・主 催 高岡市、高岡市教育委員会、高岡市美術館
- ・入館者数 1,641人

⑨ GEIBUN 2 富山大学芸術文化学部第2回卒業制作展

- ・内 容 富山大学芸術文化学部の卒業制作展。大学と美術館とのコラボレーションによって開かれる卒業制作展は、全国でも珍しい試みである。卒業制作作品108点の展示に合わせ、講演会も開催した。
- ・会 期 平成23年3月8日(火)～23日(水) (15日間)
- ・主 催 富山大学芸術文化学部卒業制作展実行委員会
- ・入館者数 3,784人

(2) 常設展示事業

高岡市美術館の所蔵作品を、担当学芸員の設けたテーマに沿って構成・展示した。

○ ものづくりのたからもの～おもしろい高岡の工芸～

- ・内 容 ものづくり・デザイン科を学ぶ児童・生徒たちの教育に資することを目的に、高岡ゆかりの工芸(金工・漆芸)を展示した。
- ・会 期 平成22年3月26日(金)～7月4日(日) (87日間)
- ・入館者数 全体の入館者数3,059人 (ただし平成22年度分3,023人)

○ 風景画展—富山と旅、そして幻想

- ・内 容 海と山の美しい景色に恵まれた富山の風景、各地の旅の風景、さらに幻想の風景等、様々な風景画41点を展示した。「ジュニアガイド」や「美術鑑賞の宿題ポイントガイド」を会場に掲示して夏休みの小・中学生の見学に対応した。
- ・会 期 平成22年7月16日(金)～11月7日(日) (99日間)
- ・入館者数 4,347人

○ 絵もじもじ展

- ・内 容 当館収蔵品から篆刻、絵画、ポスター、彫刻など27点を展示し、多くの視覚表現において付随的な役割と考えられている言葉や文字に関する作品を紹介した。
- ・会 期 平成22年11月12日(金)～平成23年3月13日(日) (100日間)
- ・入館者数 578人

(3) 資料収集保存事業

金属工芸ならびに漆芸、絵画、彫刻などあらゆる美術分野から、郷土にゆかりの深い作家や郷土美術・工芸に大きな影響を与えた作家の作品を系統的に収集・保存していく。とりわけ、金属工芸及びこれらを機縁とする金属造形については、その多様な展開がわかるよう、全国的、国際的視野に立ち、幅広く収集していく。同時に、将来性のある若手作家の作品も収集するなど、特色あるコレクションを目指す。

・平成22年度 収集作品数

() は作品点数

部門	購入	寄贈	移管	合計	備考
工芸	2件(2点)	2件(2点)	1件(1点)	5件(5点)	
絵画		3件(3点)		3件(3点)	
計	2件(2点)	5件(5点)	1件(1点)	8件(8点)	

・平成22年度 購入作品

	部門	作者	作品名	制作年	備考
1	工芸(漆芸)	宮下 芳洋	乾漆作品「彩」	2010	
2	〃	高瀬 竜一	錆絵爽風文硯箱	2010	

・平成22年度 寄贈作品

	部門	作者	作品名	制作年	備考
1	工芸(金工)	可西 泰三	臚銀花器 いのり	1974	
2	工芸(漆芸)	石井 勇助(3代)	堆朱香合	不詳	
3	絵画(洋画) 版画	篠原 有司男	GENJI	1960年代後半	
4	〃	〃	FROG ON GIRL	1960年代後半	
5	〃	〃	TAKO	1960年代後半	

・平成22年度 移管作品

	部門	作者	作品名	制作年	備考
1	工芸(金工)	大角 勲	天地守動(気)	2003	

- ・美術資料の収集
- ・美術図書の充実

(4) 教育普及事業

① 展覧会に関連する講演会・ワークショップ等の開催

○ 第16回高岡市民美術展

- ・作品講評会(各部門審査員)

日時 平成22年4月24日(土) 午後2時～

受講者数 120人

○ 第49回日本伝統工芸富山展

- ・列品解説(日本工芸会富山支部会員) 会期中6日間

日時 平成22年5月15日(土)・16日(日)・22日(土)・23日(日)・29日(土)・30日(日) 各日午後2時～

受講者数 合計523人

- 旅人たちの挑戦—収蔵品セレクション展—
 - ・くつろぎ講演会「棟方志功と私」
 - 日 時 平成22年7月3日(土) 午後2時～
 - 場 所 高岡市美術館地階 喫茶アーク
 - 講 師 金守 世士夫(版画家・棟方志功の弟子)
 - 参加者数 20人

- ふくやま美術館コレクションによる20世紀イタリア美術展
 - 未来派、デ・キリコからトランスアヴァンギャルディアまで—
 - ・記念講演会「モダニズムとファシズムの世紀」
 - 日 時 平成22年8月7日(土) 午後2時～
 - 講 師 谷藤 史彦(ふくやま美術館学芸課長)
 - 場 所 ハイビジョンホール
 - 参加者数 30人

 - ・おやつあー「やさしい現代アート入門」(美術館学芸員)
 - 日 時 平成22年8月6日(金)、27日(金) 各日午後2時～
 - 場 所 企画展示室
 - 参加者数 合計12人

- 東山庵グループコレクション
 - 安土桃山・江戸の美～知られざる日本美術の名品～
 - ・講演会「近世日本美術の華」
 - 日 時 平成22年9月25日(土) 午後2時～
 - 場 所 ハイビジョンホール
 - 講 師 遠藤 幸一館長
 - 参加者数 30人

 - ・学芸員によるギャラリートーク
 - 日 時 平成22年10月2日(土)、9日(土)、16日(土) 各日午後2時～
 - 参加者数 合計90人

- 第40回記念高岡市芸術祭(同時開催 高岡市美術作家連盟展)
 - ・作品解説(高岡市美術作家連盟会員)
 - 日 時 平成22年11月6日(土) 午前10時～
 - 平成22年11月13日(土) 午後2時～

- リニューアル ジュニア☆アート☆ワールド 2010-2011
 - ・ワークショップ「テンネン絵具で絵をかこう！」
 - 日 時 平成22年12月18日(土) 午後1時30分～
 - 場 所 地階ギャラリー
 - 講 師 広田 郁世(日本画家)
 - 参加者数 13人

- ものづくりでつなぐ高岡
 - 第5回「ものづくり・デザイン科」作品展・ワークショップ・アートイベント
 - ・高岡市ものづくり・デザイン科のつどい(体験発表、講演「ものづくりと私」)
 - 日 時 平成23年1月22日(土) 午前9時50分～
 - 場 所 ハイビジョンホール
 - 体験発表 高岡市立千鳥丘小学校、高岡市立高岡西部中学校

講 師 林 暁(富山大学芸術文化学部教授)

参加者数 100人

- ・アート・スカボロー・フェア (芸術蚤の市)
日 時 平成23年2月11日(金・祝) 午前10時～
場 所 エントランスホール 他

- ・Ushio SHINOHARA & Norikoーアート前衛への道 講演+アートイベント
日 時 平成23年2月20日(日) 午後1時30分～
場 所 ハイビジョンホール
講 師 篠原 有司男(美術家)、篠原 乃り子(美術家)

- ・ワークショップ①「入門：かんたん(陶芸) マグカップを作ろう」
日 時 平成23年1月23日(日) 午後1時30分～
場 所 地階ギャラリー
講 師 増沢 一朗(陶芸家)
参加者数 30人

- ・ワークショップ②「進化する森ーダンボールのマリオネットづくり」
日 時 平成23年2月6日(日) 午前10時～
場 所 地階ギャラリー
参加者数 19人

- ・ワークショップ③「伝統技法に親しむ：へら押し技法で原型～石膏型～拓本まで作ってみよう」
日 時 平成23年2月12日(土)、13日(日) 午後1時30分～
場 所 地階ギャラリー
講 師 串田 保二(彫刻家)
参加者数 5人

- GEIBUN 2ー富山大学芸術文化学部第2回卒業制作展ー
 - ・講演会(全3回)
日 時 平成23年3月13日(日) 午後1時30分～
講 師 須藤 晃(音楽プロデューサー、作家)
参加者数 55人

 - 日 時 平成23年3月19日(土) 午後1時30分～
講 師 大竹 伸朗(アーティスト)
参加者数 120人

 - 日 時 平成23年3月20日(日) 午前10時00分
講 師 五十嵐 太郎(建築史、建築批評)
参加者数 80人

- 常設展 「ものづくりのたからもの～おもしろい高岡の工芸～」
 - ・ものづくり・デザイン科に対応したギャラリートーク (担当学芸員)
日 時 平成22年4月14日、22日、27日、28日、30日、5月7日、11日、
12日、13日、14日、19日、20日、21日、25日、26日、28日、
6月1日、2日、3日、4日、9日、11日、15日、17日、7月1日

参加者数 25校 2,028人

石堤小、東五位小、西条小、戸出東部小、伏木小、定塚小、西広谷小、川原小、野村小、
木津小、南条小、平米小、下関小、成美小、戸出西部小、古府小、国吉小、千鳥丘小、横田小
志貴野中、五位中、福岡中、戸出中、高陵中、牧野中

② 美術教養講座「学芸員が語る美術の楽しみ方」

日 時 平成22年6月19日(土)～11月20日(土) 月1回・6回コース
各午後1時30分～3時
場 所 ハイビジョンホール
講 師 遠藤 幸一館長及び副館長、学芸員、外部講師
受講者数 85人

(5) 各種団体への普及事業、アウトリーチ（館長、副館長、学芸員）

○ 富山県菓子工業組合講演会

日 時 平成22年6月14日(月) 午後4時～
場 所 高岡商工ビル
講 師 遠藤 幸一館長

○ 動物写生コンクールの作品審査

日 時 平成22年6月30日(水) 午後1時30分～
場 所 富山市ファミリーパーク
講 師 橋本 文良副館長

○ 高岡商工会議所代議員総会講演

日 時 平成22年7月9日(金) 午後4時～
場 所 高岡商工ビル
講 師 遠藤 幸一館長

○ 「宵闇にきく高岡の怪談Ⅱ－怪談譚のフォークローア－」

日 時 平成22年8月11日(水) 午後6時30分～
場 所 高岡市民会館

○ 中部医師協同組合職員研修会講演

日 時 平成22年9月11日(土) 午後2時35分～
場 所 名鉄富山ホテル
講 師 遠藤 幸一館長

○ 高岡漆工芸品展示審査

高岡漆芸みどり会主催 漆工芸品の審査
日 時 平成22年9月16日(木) 午後1時～
場 所 地階ギャラリー
講 師 橋本 文良副館長

○ 高岡市「ものづくり・デザイン科」授業への協力

日 時 平成22年10月18日(月) 午後1時30分～
場 所 高岡市立芳野中学校
講 師 遠藤 幸一館長

- 魚津市民美術展審査・講演
 - 日 時 平成22年11月3日(水・祝) 午前9時～
 - 場 所 新川文化ホール
 - 講 師 遠藤 幸一館長

 - 高文祭優秀作品選考会
 - 日 時 平成22年11月12日(金) 午後3時～
 - 場 所 富山県民会館
 - 講 師 橋本 文良副館長

 - 高岡市・福岡町年金者連盟役員研修会講演
 - 日 時 平成22年11月24日(水) 午後4時～
 - 場 所 高岡商工ビル
 - 講 師 遠藤 幸一館長

 - 児童画コンクール作品審査
 - 国土交通省他主催「2010 川の絵画コンクール」審査
 - 日 時 平成22年11月24日(水) 午前9時～午後5時
 - 場 所 国土交通省富山河川国道事務所
 - 講 師 橋本 文良副館長

 - 各種団体への館長・学芸員による列品解説
 - 富山大学芸術文化学部、高岡工芸高校工芸科、射北中学校美術部、保育専門学院、
キューカンバーボランティアグループ、富山市藤ノ木中学校、富山市大泉中学校、ちとせ
会、富山中部高校同窓会、おおぞら、富山ガラス造形研究所、富山市社会福祉協議会、
高岡第一学園福岡ひばり園、さくら保育園、高岡第一学園附属第五幼稚園、金沢大学
附属中学校、氷見北部中学校美術部、大門中学校美術部、福光中学校美術部

 - 博物館実習生の受入
 - 期 間 平成22年8月18日(水)～21日(土)、25日(水)～27日(金)、9月2日(木) 8日間
 - 富山大学芸術文化学部 4年生 3名

 - 中学生就業体験「14歳の挑戦」受入
 - 期 間 平成22年7月6日(火)～9日(金) 4日間
 - 高岡市立志貴野中学校2年生 4名

 - 各種リファレンスへの対応
- (6) 出版物の制作
- ・「20世紀イタリア美術展」、「安土桃山・江戸の美」図録
 - ・常設展 鑑賞ガイド
 - ・収蔵品セレクション展 鑑賞ガイド
 - ・平成23年度 展覧会のごあんない (年間スケジュールパンフレット)
- (7) 調査研究事業
- ・収蔵品に関する調査、研究
 - ・郷土作家の経歴調査
 - ・企画展、次期企画展に関する調査、研究
 - ・金属工芸、金属造形に関する資料の収集、調査

- ・美術館運営に関する調査
- ・各種刊行物への論文等の執筆

(8) 美術館友の会活動

美術館友の会は美術を愛する人々が集い、美術館の活動を支援しながら、優れた美術品の鑑賞を通して、芸術文化の理解、向上を図ることを目的に活動している。

- 設 立 平成6年8月10日
- 会員数 290名（特別会員25名、一般会員230名、学生会員1名、ファミリー会員34名）
- 主な活動
事業推進会議を月1回開催し、事業の企画・運営等について協議

① 美術館への協力、支援活動

- 内 容 事業協賛金補助（ワークショップ等）
- ・リニューアル ジュニア☆アート☆ワールド 2010-2011
- ・ものづくりでつなぐ高岡
第5回「ものづくり・デザイン科」作品展・ワークショップ・アートイベント
- ・GEIBUN 2—富山大学芸術文化学部第2回卒業制作展—
- ・METAL WORK 久田鉄也展

② 自主企画事業

- ・館長ギャラリートーク&茶話会
「東山庵グループコレクション 安土桃山・江戸の美～知られざる日本美術の名品～」

日 時 平成22年10月9日(土) 午後2時～

講 師 遠藤 幸一館長

場 所 企画展示室及びアーク

参加者数 14人

- ・工芸講座

「布ぞうりで色遊び」(布ぞうり制作)

日 時 平成22年7月17日(土) 午前9時30分、午後2時～

講 師 小川 裕子

場 所 会議室

参加者数 12人

- ・企業見学

日 時 平成22年10月20日(水) 午後1時10分～

場 所 太平洋製鋼株式会社 富山製造所

参加者数 26人

- ・友の会セレクション

(地元若手クラフトマンの作品をミュージアムショップコーナーで展示販売)

◆切り絵展 加野 由希絵

会 期 平成22年6月18日(金)～7月19日(月・祝)

◆木と革の小物展 うさこ&梅基司紗

会 期 平成22年9月23日(木・祝)～10月24日(日)

◆nani?collection shinnomarket

会 期 平成23年1月22日(土)～2月20日(日)

- ③ 会員が美術に親しみ、互いに親睦を図る事業
 - ・初夏の旅行 長野・日本画散歩（長野 日帰り）
 - 期 日 平成22年6月25日(金)
 - 見学先 北野美術館、長野県信濃美術館東山魁夷館、水野美術館
 - 参加者数 44人
 - ・秋の旅行 「よりぬき関西ツアー」（大阪・兵庫 1泊2日）
 - 期 日 平成22年11月12日(金)～13日(土)
 - 見学先 大阪市立東洋陶磁美術館、白鶴美術館、ヨドコウ迎賓館 ほか
 - 参加者数 34人
- ④ 美術館たより等の発行に関する事業
- ⑤ ミュージアムショップの運営に関する事業
- ⑥ ティーラウンジ「アーク」の運営に関する事業

4 博物館事業

(1) 展示事業

- ① 常設展「高岡ものがたり」ー楽しく知ろう！ひらめき・ミュージアムー
 - ・会 期 平成22年4月1日(木)～平成23年3月31日(木) 308日間〔通年〕
 - ・内 容 平成19年7月にリニューアルして以来、「わかりやすさ」をコンセプトに、高岡の通史と、伝統産業・民俗(祭礼)などを紹介した。また時宜に応じて適宜展示替えをし、月2回の常設展示解説も実施した。
 - ・入館者数 16,827人（平成23年3月末現在）
- ② 館蔵品展「新資料展」
 - ・会 期 平成22年4月1日(木)～5月9日(日) 34日間
 - ・内 容 当館では、郷土に関わる多種多様な歴史・民俗資料を収集・保管、調査・整理している。館蔵品展は、年々増加する収蔵資料の調査成果を市民に対し公開するもの。本展では、近年収蔵した資料を展示・公開した。（前年度2月6日よりの継続事業）
 - ・入館者数 2,746人（前年度からの累計4,830人）
- ③ 特別公開「高岡御車山のルーツ！？『聚楽行幸記』」
 - ・会 期 平成22年4月24日(土)～5月23日(日) 26日間
 - ・内 容 国指定重要有形無形民俗文化財「高岡御車山」のルーツとされる、天正16年(1588)4月の「聚楽第行幸」の詳しい記録を特別公開した。行幸からわずか2か月後に阿野実政が写した新発見の貴重史料(市内個人蔵)を展示。
 - ・入館者数 3,651人
- ④ 開館40周年記念 特別展「心のふるさと 二上山」
 - ・会 期 平成22年7月31日(土)～10月17日(日) 68日間
 - ・内 容 本展では、二上山に関わる、古文書や絵図を中心に展示し、高岡市民の心のふるさと二上山のすがたを紹介した。当館と市二上山総合調査研究会との共同調査により昨年度2月25日に市指定文化財となった「二上射水神社文書」

や、同社の築山行事(県指定無形民俗文化財)の祭礼用具などを展示した。

・入館者数 4, 125人

⑤ 館蔵品展「新資料展」

・会期 平成23年2月5日(土)～3月31日(木) 47日間

・内容 当館では、郷土に関わる多種多様な歴史・民俗資料を収集・保管、調査・整理している。館蔵品展は、年々増加する収蔵資料の調査成果を市民に対し公開するもの。本展では、近年収蔵した資料を展示・公開した。

・入館者数 1, 243人

(2) 教育普及事業

① 特別講演会

○ 開館40周年記念 特別展「心のふるさと 二上山」にちなんで

演題 「二上射水神社文書から見えること」

日時 平成22年9月25日(土) 午後2時～3時30分

会場 高岡市立博物館3階講堂

講師 佐伯 安一(高岡市文化財審議会委員)

参加者数 54人

② 郷土学習講座「人物にみる高岡の歴史」(4回)

〔第1講〕演題 「津幡屋与四兵衛と高岡御車山」－曳山騒動の原因と結果－

日時 平成22年5月8日(土) 午後2時～3時30分

講師 樽谷 雅好(高岡市児童文化協会副会長)

参加者数 58人

〔第2講〕演題 「孝子六兵衛」－江戸期 高岡の孝子－

日時 平成22年6月5日(土) 午後2時～3時30分

講師 晒谷 和子館長

参加者数 50人

〔第3講〕演題 「高岡の侠客・大長について」

日時 平成22年11月27日(土) 午後2時～3時30分

講師 浦田 正吉(越中史壇会会員)

参加者数 43人

〔第4講〕演題 「旅の人のモダニズム」－林忠正から吉田鉄郎まで－

日時 平成22年12月18日(土) 午後2時～3時30分

講師 藤井 素彦(高岡市美術館主任学芸員)

参加者数 27人

(※会場はすべて当館3階講堂)

③ 展示説明会

- ・開館40周年記念 特別展「心のふるさと 二上山」3回
- ・ほか常設展など 41回

④ 高岡の歴史・伝統産業関連などのDVD・ビデオ放映

⑤ ホームページによる広報

- ・年間総アクセス数 138, 333件

- ⑥ 学芸員実習生の受入れ
- ・ 期 間 平成22年8月17日(火)～25日(金) (実働7日間)
 - ・ 実習生 3人(金沢学院大学、帝京大学、長岡造形大)
 - ・ 主な内容 資料取扱実習、資料調査・整理、近世文書演習、勝興寺古文書整理、射水市新湊博物館見学、ミュージックおおかめ館見学、会場監視等
- ⑦ 資料の貸与等協力
- ・ 資料(写真)貸与・提供等協力【公開】 57件
 - ・ 資料調査(撮影)等協力【非公開】 9件
- ⑧ レファレンス 59件
- ⑨ 講師派遣等 19件
- ⑩ 寄稿 2件
- ・ 『愛蔵版 ふるさと人物伝』(北國新聞社、2010年)分担執筆
 - ・ 巻頭言「暮らしを彩る年中行事と古文書」／高岡市立図書館館報「高岡の図書館」第91号(平成23年1月4日)
- ⑪ 委員・研修等
- ・ [富山県博物館協会] 平成22年度同会総会 4月14日
 - ・ [北信越博物館協議会] 平成22年度同会総会・研究協議会 5月27～28日
 - ・ [文部科学省・国立教育政策研究所] 平成22年度博物館長研修 7月7～9日
 - ・ [二上山総合調査研究会] 役員会議・フォーラム打合 7回、フォーラム 2月26日
 - ・ [高岡市教育委員会文化財課] 高岡市金屋町伝統的建造物群保存対策調査委員会 3回
 - ・ [富山県公文書館] 古文書調査員会議(平成18年度～) 3回
 - ・ [富山県歴史資料保存利用機関連絡協議会] 総会・講演会 6月3日、施設見学研修(福井県) 11月9日、行政文書実務担当者研修会 2月3日
 - ・ [文部科学省・国立教育政策研究所] 平成22年度博物館学芸員専門講座 12月8～10日
 - ・ [(財)日本博物館協会] 平成22年度研究協議会 12月10～11日 於・国立科学博物館
 - ・ [市教委文化財課] 高岡城跡詳細調査指導委員会(オブザーバー) 4回
- ⑫ 展示指導及び協力
- ・ 「高峰譲吉博士移動展」(主催：高峰譲吉博士顕彰会)
 - 期 日：平成22年10月3日(日)
 - 会 場：高岡市立福岡中学校
 - ・ 「高峰譲吉博士移動展」(主催：高峰譲吉博士顕彰会)
 - 期 日：平成22年10月17日(日)
 - 会 場：高岡市立牧野小学校
 - ・ 「第十回山町筋の天神様祭」(主催：土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会)
 - 会 期：平成23年1月22日(土)～23日(日)
 - 会 場：高岡市土蔵造りのまち資料館など山町筋
 - ・ 「第十一回山町筋のひなまつり」(主催：土蔵造りのある山町筋まちづくり協議会)
 - 会 期：平成23年3月12日(土)～13日(日)
 - 会 場：高岡市土蔵造りのまち資料館など山町筋
- ⑬ 他団体等への協力
- ・ 日本城郭協会「日本百名城スタンプラリー」 期間：平成19年4月6日～ 累計5,792人(平成23年3月末現在)
 - ・ 富山県文化振興財団(富山県博物館協会共催) ミュージアムフェアin水墨美術館 2月6日～14日
 - ・ 能越商工会議所・高岡商工会議所 スタンプラリー「ものづくり紀行」 期間：平成20年4月1日～22年3月31日

- ・高岡ケーブルネットワーク(企画:富山県/NHKでも放送)番組「とやま未来遺産 二上山」
- ・市教委文化財課/助勝興寺文化財保存・活用事業団 勝興寺古文書調査 6回(通算26回/21年5月～)
- ・博物館・美術館イベント情報サイト「インターネット・ミュージアム」「ミュージアム・キャラクター 人気投票」(「利長くん」1位獲得) 6月17日～7月31日
- ・高岡ロータリークラブ シンポジウム パネラー(5月20日)、「ちびっ子利長公検定」講師・検定問題作成/3月27日)
- ・市教委学校教育課 「ものづくり・デザイン科」
- ・市都市計画課 「高岡市歴史的風致維持向上計画」
- ・高岡市福岡歴史民俗資料館 平成22年度古文書講座 講師 6回 (21年～)

⑭ ワークショップの開催

「切り紙で北前船をつくろう！」

- ・日 時 平成22年4月29日(木・祝)午前10時～正午
- ・会 場 高岡市立博物館3階講堂
- ・講 師 飛見 立郎(高岡市立博物館協議会副会長、医師)
- ・参加者数 20人

宵闇に聴く高岡の怪談Ⅱ 一怪異譚のフォークロアー

- ・日 時 平成22年8月11日(水)午後6時30分～午後8時
- ・会 場 高岡市民会館
- ・協 力 たかおか怪談を怖がる会(美術館、市民会館など事業団職員含む)
- ・参加者数 116人

たかおか歴史探検隊! 「きみも1日学芸員になってみよう」

- ・日 時 平成22年8月21日(土)午前10時～午後3時
- ・会 場 高岡市立博物館3階講堂、高岡古城公園内など
- ・講 師 当館学芸員
- ・参加者数 5人

⑮ 呈茶の会の開催

「松聲庵」一掛待合で抹茶を楽しみませんかー

- ・日 時 平成22年4月10日(土)・11月6日(土) 午前10時～午後3時
- ・会 場 高岡市立博物館 松聲庵
- ・指 導 近藤 昭美(裏千家淡交会高岡支部幹事)
- ・参加者数 300人

(3) 資料収集・保存活動

① 収集活動

購入 33件134点、寄贈 40件348点

② 保存活動

- ・資料収納桐箱の作成
- ・資料の裏打ち(高野家資料絵図類など)
- ・資料収蔵用中性紙封筒・箱の購入

(4) 調査研究活動

- ・収蔵資料、及び未調査資料の整理(調査・整理・登録・撮影等、データベース化)
- ・収蔵資料収集・分類・整理方針について
- ・「下麻生村文書」(寄託資料)の調査・整理、目録作成
- ・平成23年度実施予定の展示関連の調査

(5) デジタルアーカイブ推進事業（10月から）

- ・緊急雇用創出事業（国庫補助100%）
- ・博物館所蔵の全資料（平成23年度3月末現在で23,000点余）を調査・整理し、資料台帳を整備、写真撮影を実施する。
- ・その資料情報をシステム上に入力して、デジタルアーカイブを推進する。
- ・インターネット上に公開し、市民をはじめ研究者など博物館利用者に対し、資料及び資料情報の幅広い利活用を促進する。
- ・博物館が、本市の推進する歴史情報と歴史資産を活用した「文化のまちづくり」の一端を担い、本市の活性化に資することを目的とする。

5 高岡市民会館事業

(1) 古城の森に響く新しい音楽会

「オーケストラ・アンサンブル金沢 with 山下洋輔」

- ・日 時 平成22年5月13日(木) 午後7時開演(午後6時15分開場)
- ・会 場 高岡市民会館
- ・出 演 山下洋輔(ピアノ)、藤岡幸夫(指揮)、池辺晋一郎(案内役)
オーケストラ・アンサンブル金沢(管弦楽)
- ・曲 目 ラプソディー・イン・ブルー(のだめカンタービレ エンディングテーマ)、
シンドラのリストのテーマ、プリンク・プレック・ブランク ほか
- ・入場者数 848人

(2) 古城の森に響く新しい音楽会

「10才のファーストコンサート」

- ・日 時 平成22年6月11日(金)
午前の部：午前10時30分/午後の部：午後1時50分開演
- ・会 場 高岡市民会館
- ・出 演 新田ユリ(指揮兼案内役)
オーケストラ・アンサンブル金沢(管弦楽)
- ・曲 目 歌劇「皇帝ティトの慈悲」序曲、アイヌの唄、水上の音楽より～アラ・ホーン
パイプ、軍隊行進曲、春初めのカッコウをきいて、ポールをめんどり、シン
コペーティドクロック、君をのせて【全員合唱】、交響曲第5番より 第1楽
章、ラデツキー行進曲【アンコール】
- ・入場者数 1,758人（引率者、保護者含む）

(3) 古城の森に響く新しい音楽会

「ピアノコレクション」

～6名のピアニストが奏でる多彩な旋律と3大ピアノが織り成す幻想空間～

① 本公演

- ・日 時 平成22年11月27日(土) 午後6時30分開演（午後6時開場）
- ・会 場 高岡市民会館
- ・出 演 木住野 佳子、中村 由利子、村松 健、山本 佳澄、清水 香里、間部 栄司
- ・曲 目 ア・ディ・イン・ザ・ライフ(デュオ)、マイ・フェイヴァリット・シングス(デ
ュオ)、「見上げてごらん夜の星を」(デュオ)、ボレロ(3台のピアノによ
る演奏)、夕日(3台のピアノによる4名の演奏)ほか

・入場者数 566人

② 出張コンサート

- ・日 時 平成22年11月25日(木)午後1時55分～3時30分
- ・会 場 高岡市立太田小学校
- ・出 演 木住野 佳子
- ・対 象 太田小学校2～4年生 62人

(4) ー未来創造プロジェクトー 進化する森
森とこどもとダンスとアート

① 本公演

- ・日 時 平成23年1月30日(日) 午後2時開演 (午後1時開場)
- ・会 場 高岡市民会館
- ・出 演 進化する森ダンスカンパニー、進化する森アートファクトリー
- ・演 目 第1部 「古城の森たんけん」
第2部 はじまりの森より「そらと森がとけあう^{とき}時間」
- ・入場者数 1,100人
※キッズスタッフ(小学生の受付、会場案内等)26人

② ワークショップ

- ・日 時 平成22年7月30日(金)～ 計14回
- ・会 場 高岡市民会館ほか
- ・指 導 ダンス：可西晴香(可西舞踊研究所代表)、石澤宣子(高岡第一学園幼稚園教諭・
保育士養成所所長)、福本まあや(富山大学芸術文化学部助教)ほか
アート：橋本文良(高岡市美術館副館長)ほか
- ・参加者数 一般公募による市民ほか 約300人

(5) 平成22年度ホール活性化事業

① サロンコンサート&ミニギャラリーの開催

- ・会 場 高岡市民会館ロビー

② コンサートピアノ演奏体験

- ・日 程 平成22年7月31日(土)～8月2日(月)3日間
平成23年3月23日(水)～26日(土)4日間 ※各日夜間も実施
- ・会 場 高岡市民会館
- ・内 容 ホール空き日を利用し、高岡市民会館コンサート用ピアノ(スタインウェイ)
と音響反射板を設営した練習の場を提供した。
- ・参加者数 合計43人

③ カルテット・ゼーレ弦楽四重奏 for kids ～ようこそクラシックへ～

○ 本公演

- ・日 時 平成23年3月19日(土)
- ・会 場 高岡市民会館特設ステージ
- ・出 演 カルテット・ゼーレ
澤 奈穂子(ヴァイオリン) 山口 順子(ヴァイオリン)
鈴木 慶子(ヴィオラ) 田中 愛(チェロ)
- ・入場者数 271人

○ 出張コンサート

- ・日 時 平成23年3月18日(金)
- ・会 場 戸出保育園、西部保育園
- ・参加者数 117人

- ・日 時 平成23年3月20日(日)
- ・会 場 長生寮
- ・参加者数 60人

参考：サロンコンサートおよびミニギャラリー開催内容（平成22年4月～23年3月）

開催日	タイトル	出演者等	入場者
4/27～30	第22回ミニギャラリー 「透明水彩画の世界」	出展；須賀忠道	230
4/29	第124回サロンコンサート 「エスパーニャ！ギターで綴る光と影」	四十谷 隆司	240
5/30	第125回サロンコンサート 「古城の森 緑の中の音楽会」	高岡フィルハーモニー管弦楽団 本多敏良（指揮）	300
6/4～6	第23回ミニギャラリー 「折り紙で七夕飾り」	市民会館ホールサポーターの会 「パープル」	185
6/6	第126回サロンコンサート 「津軽三味線 響き」	加藤流三絃道訓若会	250
7/3	第127回サロンコンサート 「花・三代シリーズと名曲の調べ」	絵本コロ・アルカディア2010	150
7/25	第128回サロンコンサート 「あなたが主役！みんなで歌いまショー」	市民会館ホールサポーターの会 「パープル」	200
8/11～20	第24回ミニギャラリー 「木版画展 こころの風景」	出展；水上悦子	280
8/29	第129回サロンコンサート 「古城の森に歌う」	女声合唱団「どるちえ」	150
9/23	第130回サロンコンサート 「初秋の古城を彩る J A Z Z」	The Fireworks	200
10/17	第131回サロンコンサート 「古城の秋を彩るリストの調べ 珠玉のピアノ」	山本佳澄	200
2/27	第132回サロンコンサート 「古城の森に春を呼ぶ PIANO」	亀山薫	230
合 計		コンサート 9回 ギャラリー 3回	2,615人
その他	<ul style="list-style-type: none"> ◆市民会館ホールサポーターの会「パープル」結成10周年記念パーティー（7/25ロビーにて） ◆当館自主事業における表方業務等協力 ◆ラジオたかおか「みんなでパープル」第1、第3火曜日午後2:15～放送 		

6 青年の家事業

(1) 青年文化教室

青年を対象に生涯学習の一環として文化・レクリエーション活動を実施。

教室	講師	期間	回数	受講者数
生け花(嵯峨御流)	高森美智甫	5月11日～8月3日	10回	5人
生け花(池坊)	立島 志野	5月6日～8月12日	10回	9人
着付け	毛利 正江	5月11日～7月20日	10回	6人
煎茶	中山 光律	5月14日～7月23日	10回	6人
ヨガ	志波 一樹	5月8日～9月25日	10回	11人
3B体操	坂下 朋子	5月13日～7月15日	10回	11人
能楽入門体験	山崎 健	5月8日～7月16日	10回	2人
マット・ピラティス	伊東 育子	5月13日～7月29日	10回	10人
おりんでセラピー～心とからだのメンテナンス	清水美和子	5月18日～8月8日	10回	18人

(2) 現代教養講座

青年のニーズにあった知識・技能の習得を目的に行った。

- ・日 時 平成22年5月22日(土)～9月4日(土) 午後7時～9時 (15回)
- ・内 容 伝統文化に親しめる体験講座を文芸・華道・茶道・着付けのリレー形式で実施。
- ・講 師 山本 典子 (文芸)
工藤 泰子 (華道)
須賀 宗伸 (茶道)
千田 あき子(着付け)
- ・受講者数 6人

(3) 若者交流支援事業

青年層の仲間づくりを促進することを目的に、スポーツ・レクリエーション教室の開催及びリーダー養成のための研修会を実施。

① ゴルフ入門・初心者教室

- ・日 時 平成22年6月6日(日)～8月8日(日) (8回)
午前10時～11時30分
- ・会 場 オックス高岡
- ・内 容 ゴルフのルールとマナーの学習及び実技講習。
- ・講 師 三浦 大志
- ・受講者数 22人

② ボウリング教室

- ・日 時 平成22年10月28日(水)～11月25日(水) (5回)
午後7時30分～9時
- ・内 容 ボウリングの基礎技術やルールを習得する。
- ・会 場 マンボウ高岡

- ・講師 荒井 則雄
- ・受講者数 3人

③ 短歌教室

- ・日時 平成22年10月29日(金)～12月3日(金) (5回)
午後7時～8時30分
- ・内容 短歌を知り、つくることによって日本人の心を学ぶ。
- ・講師 米田 憲三
- ・受講者数 6人

④ リーダー研修会

- ・日時 平成23年2月10日(木)
午後7時30分～9時
- ・内容 ボランティア養成講座
- ・講師 村上 満
- ・受講者数 14人

(4) 青年の家文化祭(第11回)

青年の家を利用しているサークルが日頃の練習の成果を発表し、学習や交流を深め文化活動の活性化を図った。

- ・日時 平成22年11月14日(日)
午前9時30分～午後4時
- ・会場 高岡市青年の家
- ・内容 作品展示、お茶席、芸能発表
- ・参加者数 23サークル 300人
- ・入場者数 750人

7 ミュゼふくおかカメラ館事業

平成21年度には記念すべき開館10周年を迎え、平成22年4月には増築収蔵庫が完成するなど様々な節目を迎える中、当館の機能が一層魅力あるものとなるよう地道な取り組みに加え、さらに新しい工夫や事業の見直しを含めた検討も並行し進めた。

(1) 企画展示事業

① 企画写真展

第一線で活躍する写真家による企画写真展3事業を春・夏・秋の季節に開催した。

○ 春の企画写真展 増築収蔵庫完成記念

織作峰子写真展「SWISS 光と風」

- ・内容 女性写真家 織作峰子氏の写真展。スイスの美しい自然・景観とそこに暮らす人々を撮影した220点の作品を展示。
- ・会期 平成22年4月10日(土)～6月13日(日) (55日間)
- ・共催 高岡市、高岡市教育委員会、北日本新聞社、北日本放送、北陸放送
- ・協力 富士フィルム株式会社、凸版印刷株式会社、株式会社写真弘社、株式会社フレームマン、株式会社ナナオ
- ・入館者数 3,962人

○ 夏の企画写真展

前川貴行写真展「WILD SOUL 極北の生命」

- ・内 容 若手動物写真家 前川貴行氏の写真展。アラスカを中心とした自然風景とそこに棲む野生動物たちの情景を撮影した迫力ある大型作品を中心に約90点を展示。
- ・会 期 平成22年6月19日(土)～8月29日(日) (62日間)
- ・共 催 高岡市、高岡市教育委員会、北日本新聞社、北日本放送、北陸朝日放送
- ・後 援 株式会社小学館
- ・協 力 キヤノンイメージングジャパン株式会社、サンディスク株式会社
- ・入館者数 2, 262人

○ 秋の企画写真展 新「高岡市」誕生5周年記念

石川賢治月光写真展「月光浴 満月の旅」

～海の底から山の上まで。そして京都～

- ・内 容 月光写真家 石川賢治氏の写真展。月の光のみで撮影された世界各地の自然風景をとらえた作品105点を展示。京都・オーストラリアシリーズは初公開。
- ・会 期 平成22年9月4日(土)～11月7日(日) (55日間)
- ・共 催 高岡市、高岡市教育委員会、北日本新聞社、北日本放送、北陸放送
- ・協 力 富士フイルム株式会社
- ・入館者数 4, 813人

② 公募写真展

ジュニア対象公募展による参加型写真展1事業を開催した。

○ 第10回ジュニアフォトコンテスト写真展

- ・内 容 小・中・高校生を対象とした写真公募展。夏より募集を開始し、県内外から431点もの作品が寄せられた。10回の節目にあたる今回は特別賞(市長賞)を設け、大賞ほか入賞作品43点を含む227点を一堂に紹介。表彰式および審査員による講評会を行った。
- ・会 期 平成23年2月5日(土)～3月27日(日) (43日間)
- ・応募数 小・中学生の部 273点 (138人)
高 校 生 の 部 158点 (89人) 合計431点 (227人)
- ・入館者数 650人

③ 巡回写真展

規模及びレベルにおいてアマチュア写真コンテストの最高峰とも言われる全国有数の公募展から選ばれた作品の巡回展1事業を開催し、写真文化の啓蒙に努めた。

○ 第57回ニッコールフォトコンテスト写真展

- ・内 容 歴史と伝統を誇るニッコールクラブが毎年開催している全国公募の作品から、見事賞を射止めた作品たち271点を紹介する写真展。今回、全国から寄せられた37, 549点の中から選ばれた作品を、モノクローム、カラー、ネイチャー、デジタルイメージングの4部門に分けて紹介した。
- ・会 期 平成22年11月13日(土)～12月19日(日) (31日間)
- ・入館者数 1, 120人

(2) 常設展示事業

収蔵するクラシックカメラを展示し、その機構の発展や経緯・歴史を振り返るとともに、特に今年は増築収蔵庫完成記念展に取り組んだ。展示の充実を図り、展示作業等には市民ボランティアと協力し行った。

① 増築収蔵庫完成記念「クラシックカメラの世界展」

- ・内 容 収蔵庫完成記念として、当館の収蔵品の中でも厳選されたカメラを展示し、代表的なカメラの機構や発展の歴史をわかりやすく紹介。展示台数を増やし、さらに映像でわかりやすく紹介するDVD制作等に取り組んだ。
- ・会 期 平成22年4月10日(土)～11月7日(日) (172日間)
- ・入館者数 11,037人

② 「二眼レフの存在感と実力」

- ・内 容 クラシックカメラの歴史の中でも大衆化に大きく寄与した二眼レフに焦点をあて、その機構や発展の歴史をわかりやすく紹介。
- ・会 期 平成22年11月13日(土)～平成23年3月27日(日) (102日間)
※平成22年12月23日(木・祝)～平成23年1月30日(日) (28日間) 入館無料
- ・入館者数 1,906人

(3) 教育普及事業

① ギャラリートーク等の開催

○ 織作峰子ギャラリートーク

- ・開催日 4月10日(土) 2回、5月2日(日)、6月12日(土) 計4回
- ・参加者数 計500人

○ 前川貴行ギャラリートーク

- ・開催日 6月19日(土) 2回、8月8日(日) 計3回
- ・参加者数 計200人

○ 石川賢治展ミニコンサート・夜間延長「SHOWER of Moonlight Blue」計2回

- ・開催日 9月23日(木・祝)、10月23日(土) ※満月に併せて開催
- ・出演者 (9/23) 高岡フィルハーモニー管弦楽団メンバー(弦楽四重奏)
1日3回 参加者数：計200人
(10/23) オーケストラ・アンサンブル金沢メンバー(ヴァイオリン)
1日3回 参加者数：計400人

○ 第10回ジュニアフォトコンテスト講評会

- ・開催日 平成23年2月11日(金・祝) 表彰式後
- ・講 評 山口裕美(富山県写真連盟副委員長)審査員
- ・参加者数 30人

② 地域との連携

○ 写真教室「写真を語ろう」

- ・開催日 平成23年1月15日(土)、22日(土)
- ・会 場 高岡市ふくおか総合文化センターUホール1階研修室
- ・参加者 のべ42人
- ・講 師 金山嘉宏館長

- 講師・審査員派遣協力
 - ・つくりもん祭写真コンテスト審査員（つくりもん祭実行委員会）
 - ・平成22年度富山県高校写真展審査員（富山県高等学校文化連盟）
 - ・第27回中田かかし祭写真撮影会講師（中田地域生涯学習推進協議会）
 - ・第27回中田かかし祭「写真コンクール」審査員（中田かかし祭実行委員会）
 - ・りんご畑でモデル撮影会審査員（国吉農林振興会）
 - ・第21回高岡市消防出初式写真コンクール審査員（高岡市防火管理協議会）
 - ・室崎琴月生誕120年事業「夕日」の写真コンテスト審査員（北日本新聞社）
（いずれも金山嘉宏館長）

- 地元小学校との連携活動（福岡小学校ふるさと発見クラブ活動）
 - ・開催日 5月26日(水)、6月23日(水)、7月7日(水)、9月15日(水)、
10月20日(水)、11月17日(水)、12月8日(木)、平成23年1月
19日(水)、2月9日(水)、3月2日(水)
 - ・参加児童数 7人

(4) 資料整備・調査研究事業

① 資料整備計画の推進

4月に増築収蔵庫が完成し、温度・湿度等の空調調整および各々のデータを採取した結果、収蔵庫内の安定した10月末に旧収蔵庫からカメラ資料等の運び込み作業を行った。作業に当たり、既存のカメラ資料の再確認、データ整理、調査、台帳作成計画等を併せて行い、今後の当館における博物館機能の基礎となる部分を同時に進め、その専属作業を緊急雇用創出事業により2名増員し、順次作業を継続した。また同時に旧収蔵庫についてはカメラ・写真等関連図書資料の書庫として整備を進めた。

② 企画展、次期企画展に関する調査、研究

- ・平成22年度 収集作品数 () は作品点数

部 門	購 入	寄 贈	合 計
カメラ資料	0件 (0点)	12件 (28点)	12件 (28点)
写真資料	0件 (0点)	0件 (0点)	0件 (0点)
書籍資料	9件 (24点)	1件 (52点)	10件 (76点)
計	9件 (24点)	13件 (80点)	22件 (104点)

※平成23年3月31日現在

(5) その他 各種団体との関連催事等

- カメラ整理員(ボランティア)との協働作業による資料整理・補修の推進
- ホームページ等による広報活動の推進
- 「社会に学ぶ『14歳の挑戦』事業」(県教委主催)の受入れ
 - ・期 間 平成22年7月6日(火)～9日(金)(4日間)
 - ・参加者数 1人(高岡市立福岡中学校2年生)
 - ・主な内容 資料の取扱い、広報、受付等。
- 各種リファレンスへの対応
- 県水墨美術館ミュージアム交流事業への参加

<織作峰子展期間中>

- 5月11日(火)堀川町自治会との合同防火訓練 参加者 30人
- 6月1日(火)写真の日における全館無料開放 当日入館者数 152人

<前川貴行展期間中>

- 7月21日(火)～8月29日(日)夏休み期間高校生以下無料開放 高校生以下 入館者数182人

<石川賢治展開催中>

- 9月23日(木・祝)・10月23日(土) 満月にあわせた夜間延長 17:00～21:00 両日入館者数計158人
- つくりもん祭にあわせた臨時開館9月24日(金) 当日入館者数 78人

◆「カメラ館を元気にする会」(仮称)

9月17日(金) 民間ボランティア団体初顔合わせ会

8 高岡古城公園動物園事業

(1) 展示事業

① 飼育動物 47種159点

- ・哺乳類 17種 66点(アメリカンミニチュアホース、ニホンザル、ウサギ等)
- ・鳥類 27種 93点(ペンギン、フラミンゴ、クジャク、エミュウ、オウム等)
- ・魚類 3種 多数(モツゴ、ギンブナ等)

② 自然資料館

- ・剥製標本 844点

(2) 動物園まつり

- ・内容 動物愛護週間(9月20日～26日)の期間の日に、動物愛護の啓発普及を図る目的で動物ふれあいコーナー、クイズ等イベントを、また併せて動物慰霊祭を実施した。
- ・日時 平成22年9月23日(木・祝) 午前10時～午後4時
- ・主催 高岡市、古城公園動物園、古城公園を愛する会
- ・来園者数 200人

(3) 特別展

- ・内容 動物園内自然資料館で、動物等に関するテーマを設定し、パネル等を使用し小学生でも理解できるようにやさしく動物の解説を行った。
テーマ『家畜』
- ・期間 平成22年8月1日(日)～9月23日(木・祝)

(4) 動物園だよりの発行

- ・内容 動物園のニュース・お知らせ、写真を掲載した動物園だよりを作成し、市内小学校・幼稚園・保育園に配布した。
- ・年2回 9月・3月(各回2,000部)

(5) 動物愛護に関する標語の募集

- ・内 容 動物愛護の啓発普及を図る目的で、来園者を対象に動物愛護に関する標語を募集し、コンクールを行った。
- ・日 時 平成22年7月1日(木)～31日(土)
- ・主 催 社団法人 日本動物園水族館協会